

I 福山市
 ミッション 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。
 ビジョン 「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。

II 中学校区	前年度学校関係者評価の主な内容	児童生徒の現状	育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)	課題発見・解決力 思考力・判断力・表現力 主体性・積極性 共感力
	<ul style="list-style-type: none"> 子ども主体の活動を推進する。 毎月OPTの取組の成果がよくわかり、質の向上を期待しています。 学力向上及び体力の向上の取組はよくわかります。家庭や地域へ情報発信を期待しています。 業務改善により時間を生み出してください。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な内容の理解は定着してきているが、思考力・表現力が弱い。 自尊感情が高まりつつあり、主体的に行動する姿が見えてきた。 	めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)	自ら考え、学び、表現し、自尊感情の高い生徒
			中学校区とし統一した取組等	<ul style="list-style-type: none"> 子ども主体の学びに向けた授業を創り、思考力・表現力を高める。 レーダーチャート等を活用し、学級力や自尊感情、主体性を高める取組をする。(年3回アンケート実施) 学校における働き方改革を進める。

III 自校	ミッション	育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)	課題発見・解決力	思考力・判断力・表現力	主体性・積極性	共感力	
	見えない「人間の根っこ(学問・社会性)」を育てる	めざす子ども像	1・2年	自分で疑問や課題を見つけ、生活体験や既習事項をもとにして解決しようとしている。	生活体験や既習事項から順序立てて自分の考えを持ち、絵や言葉、動作などを駆使して表現している。	自分がやらなければならない勉強や仕事を進んで行っている。	身近な人に温かい心で接している。
	学校教育目標 大きく広げる知識 積み上げる伝統 のばす体力		3・4年	疑問に思ったことから課題を設定し、生活体験や既習事項、収集した事項を根拠にして解決している。	生活体験や既習事項から理由や根拠をもとに自分の考えを持ち、絵や言葉、動作など適切な方法を選択し、表現している。	集団の中で、自分がやるべきことに気付き、進んで行動している。	相手の気持ちを考え、行動している。
	現 状 <児童生徒> ○当たり前のこと(授業を大切にす・気持ちの良い挨拶・無言掃除・思いやりのある行動)ができる児童が多い。 ○学級力や自尊感情が高まり、考えて行動できる児童が増えてきた。 △周りの状況を見て自分で判断して、行動できる力はまだ弱い。 △楽しみながら体力向上が図れるようになってきたが、児童の体力向上に課題がある。 <授業> ○教科領域等の関連を図り、児童の疑問や問いを大切にした単元づくりを通して、児童の学習に対する意欲が高まってきた。 △教師の話をしっかり聞き、「わかる」「できる」と思える授業づくりを進めることが出来るようになってきたが、力が確実に付いているとは言えない。 △自分の考えを表現する授業に向けて取組をしていく必要がある。		5・6年	疑問に思ったことから課題を設定し、生活体験や既習事項、収集した事項を根拠にして解決し、新たな課題を見つけている。	生活体験や既習事項から適切な理由や根拠をもとに、自分の考えを持ち、目的や意図に応じて、論理的に説明したり、適切な方法を選択したりして表現している。	集団の中で、相手や場の状況に応じて、自分でより高い目標を持ち、自分から行動している。	相手を思いやることの大切さに気付き、相手の立場を尊重し、行動している。
		教科等	国語科・特別活動				
		研究 主題・内容等	学びをデザインし、自己選択・自己実現のできる児童の育成				
		めざす授業の姿	児童の思考を促す課題・問いを設定し、児童自ら学び方を習得できる授業 ・課題追究の手立てとしての「めあて」と「まとめ」、「ふり返り」のある授業 ・自律した学び手となるように、自己選択、自己できる場がある授業				

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立 大津野小 学校

年 目	中期経営目標	重 点	分 類	短期経営目標	目標達成に 向けた取組	評価指標	中間評価（10月1日）			最終評価（2月末）				
							□指標に係る 取組状況	プロセス 評価	達成 評価	改善方策	□指標に係る 取組状況 ◎短期（中期）経営 目標の達成状況	プロセス 評価	達成 評価	総合 評価
2	基礎学力の定着と 思考力・判断力・ 表現力の育成	★	見 直 し	・「わかる」「で きる」「学びが面 白い」と実感する 授業をつくる。	単元構成シートを活 用し、自己選択・自 己決定できる場を設 けた授業づくりを行 うことで、自ら学び を深める児童の育成 を図る。	国語科・算数科の授業は 「よくわかる」「学びが 面白い」質問項目に対す る肯定的評価87%以上 にする。【児童アンケ ート】								
				・国語科・算数科 における基礎学力 の向上を図る。 【課】【思】	児童の課題を分析 し、授業改善の推進 やドリルタイムの実 施、タブレットを効 果的に活用してい く。	・単元テスト（国語科「思 考・判断・表現」、算数科 「知識・技能」観点）や各種 学力調査において、60%未 満の児童を低学年6%、中学 年9%、高学年12%未満及 び全国平均以上にする。【単 元テスト・全国学力・標準学 力調査】								
2	主体性・積極性、 共感力の育成	★	見 直 し	お互いの立場を尊重 し合え、自尊感情の 高い児童を育てる 【共】	学期に1回、お互いの よさを認め合える場面 を設定する。（なりた い自分の振り返り）	学級カレダーチャート における「相手を受け入 れる」を80%以上にす る。【毎月のレーダー チャート】								
2	たくましい体の育 成		継 続	めあてをもち、自ら 進んで健康・体力向 上を図る児童を育て る 【課】【主】	課題のある種目について学 期ごとの重点項目を設定 し、授業改善の推進や「大 津野もりもりタイム」等に 取組む。 体育委員会で体力向上の取 組を考え、定期的に行うこ とで、運動やスポーツに対 しての意欲や運動能力を高 める。	運動やスポーツをす ることが好きな児童を87% 以上にする。【体力テ スト・児童アンケート】								
3	教職員の元 気・笑顔	★	継 続	業務改善の実施と仕 事のスピード化・効 率化を意識し、職務 を遂行する【課】 【主】	週・月ごとの計画を 早めに立て、見通し を持って職務を遂行 する。 職員の状況の把握 し、精神・健康面の ケアや業務達成の支 援する。	時間外勤務時間の平均 45時間未満の月 100%にする。 仕事のやりがいを感じ ている教職員を90% 以上にする。 【100NEN教育アン ケート】								
4	保護者・地域から 信頼される学校の 創造		継 続	自ら主体的に考え行 動できること、そし て、地域に愛着をも ち、地域貢献する児 童を育てる 【共】	当たり前のこと（挨拶・掃 除）が当たり前で児童 を育成する。 HPなどを活用し情報公開 を行う。 月1回以上の通信発行で児 童の様子を伝える。	保護者満足度を90% 以上にする。【保護者 アンケート】								

[プロセス評価の評価基準]

評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。

[達成評価の評価基準]

評点	評価基準
5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。
4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。
3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。
2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。
1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。

[総合評価の評価基準]

評点	達成度	評価
5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。